

(単位: m)

番号	長軸方位	平面形	規			模		小 穴		備考
			上部 長径	上部 短径	深さ	壘底 長径	壘底 短径	中央	その他	
101 B		円形?	(1.15)	(0.57)	1.24					
102		ほぼ円形	1.53	/	0.73	1.71	1.6		2	
103	N-52.5°-E	楕円形	2.02	1.76	0.92					4
106		ほぼ円形	1.51	/	0.82	1.73	/		2	
107		円形	1.63	/	0.77	1.82	/			
108 A	N-24.5°-E	不整形	3.78	3.69	1.0	2.71		2	2	
B		円形?	1.13	/	0.89	1.43		1	2	
110 A		(円形)	1.9	/	0.45	1.7		1	1	
B		円形?	1.7	?	0.53	1.5				
111		円形	1.74	/	0.74	1.62				
112		ほぼ円形	1.7	/	0.94	2.11	1.95			3
113		円形	2.0	/	0.7	1.76	/	1	1	
114	N-65°-E	楕円形	2.05	1.74	0.5	1.89	1.55	1	1	
116		ほぼ円形	1.85	/	(0.4) 0.34	(1.74)	1.46	1	3	
117	N-6.25°-E	円形?	3.0	2.25	0.74	2.78	1.94	1	1	
118		円形	1.8	/	0.82	1.9	/	1	1	
123		不整形	1.3	/	0.64					
124 B		円形	(1.8) 1.58	/	0.66	1.4	/	1	1	
130	N-29.2°-E	不整楕円形	3.4	2.5	0.65			1	2	
135		円形	2.9	/	0.7	2.6		1	1	
151		ほぼ円形	2.3	/	0.84			2		
156		円形	3.0	/	0.74			1	3	
158	(N-5.3°-E) N-17.5°-W	楕円形	(3.4) 2.25	(2.5) 1.75	1.01			1	2	
159	N-55°-W		2.75	2.3	0.89				1	
161	(N-71°-W)	ほぼ円形	1.78	1.0	0.65					
168		ほぼ円形	2.75	2.6	0.9			1	3	
169		ほぼ円形	2.62	/	0.95					
170		ほぼ円形	2.2	/	0.72			1		
172		ほぼ円形	2.48	/	0.75					
173		ほぼ円形	2.2	/	0.6				1	
174	N-0°	楕円形	2.6	2.13	0.55			3	1	
176 B		ほぼ円形	2.04	1.92	0.73				1	
177	(N-34°-W)	ほぼ円形	2.1	1.95	(1.17) 0.64				2	
178 A		ほぼ円形	2.49	/	0.62					
179 A		円形?	2.26	/	0.85			1	3	
B		円形?	1.96	/	0.71				1	
198	N-8°-W	卵形	2.12	2.05	0.77	2.16	1.75			

(単位：m)

番号	長軸方位	平面形	規		模			小 穴		備 考
			上部長径	上部短径	深さ	擴底径	擴底径	中央	その他	
203	N-10°-W	楕円形	2.65	2.5	0.6	2.28	2.0			
207	N-57°-E	卵形	3.0	2.1	0.62	2.37	1.93			
209	N-40°-W	楕円形	3.0	2.4	0.78	2.73	2.6	1	1	
212		ほぼ円形	2.1	/	1.06	2.32	2.11	1		
213	N-15.5°-W	ほぼ円形	3.4	3.1	0.71	2.92	2.83	1		
218	N-58°-W	ほぼ円形	3.0	2.7	1.17	2.91	2.73	1	3	
219	N-32°-E	不整形	2.7	1.75	0.7	2.33	2.05		3	
220		円形	2.0	/	0.55	1.89	/		2	
229	(N-43.5°-E)	ほぼ円形	2.5	2.2	1.05	2.1	2.0		1	

第8表 Tピット一覧

(単位：m)

番号	長軸方位	平面形	規		模			備 考
			上部長径	上部短径	深さ	擴底径	擴底径	
119	N-24.5°-E	楕円形	1.92	1.48	2.02			
120	N-36°-E	楕円形	1.98	1.2	1.81			
122	N-35°-E	長楕円形	2.9	1.9	1.92			
125	N-68°-E	楕円形	2.4	1.7	1.91			
126	N-68°-E	楕円形	2.3	1.8	2.35			
127	N-60°-E	楕円形	2.25	1.4	1.53			
129	N-70°-E	楕円形	(2.7) 2.33	(2.3) 1.25	1.82			
133	N-48.6°-E	長楕円形	2.3	1.1	1.92			
215	N-86°-E	長楕円形	3.1	1.5	2.05	1.57	0.12	
216	N-81°-W	不整形楕円形	2.4	2.0	2.2	2.52	0.44	

## 第Ⅳ章 ま と め

赤松遺跡は茨城県の南端部に位置する竜ヶ崎市の北西部、南側を小貝川等の沖積地に限られた稲敷台地南端に所在する。

調査対象面積は13,700㎡であったが、精査突面積4,830㎡内から確認された遺構は、縄文時代中期の竪穴住居址群および種々の土壌群、古墳時代前半期の竪穴住居址・土壌、中世ないしは近世の炭焼窯址である。

出土遺物は、縄文時代の遺物として加曾利E式を主体とし若干の浮島式・阿玉台式を含む多量の土器、磨製・打製石斧、石鏃、凹石等の石器類、土器片鏃、土器片製円版等の土製品がある。古墳時代の遺物は、五領期の土師器・土玉・鉾である。

前述のように出土遺物が多く、ここでは発掘調査の過程において把握し得た所見と問題点を記して今後の研究の参考に資したい。

### 住居址群について

縄文時代の竪穴住居址は、SI026・SI027等住居址と断定でき得ないものもあるが、東西130m、南北70～80m内から39軒の存在を確認することができた。南側については精査を実施していないので、集落の全容は明らかにし得なかったが、楕円形状あるいは円弧状をなす集落形態を呈するものと推測される。これは縄文時代中期の集落に看られる一般的な形態である。

ここで竪穴住居址の構造等について概観してみよう。

平面図をみると円形・楕円形・隅丸方形・隅丸長方形等がある。

円形の住居址は、SI003・SI005・SI009・SI011・SI013・SI019・SI030・SI031・SI039の9軒。

楕円形の住居址は、SI004・SI007・SI010・SI015・SI017・SI022・SI025・SI029・SI035・SI036・SI037の11軒で、楕円形と推定されるものに、SI020・SI021・SI028・SI038がある。

隅丸方形の住居址は、SI014・SI023・SI034の3軒で、SI008・SI018もこれに類すると思われる。

隅丸長方形の住居址は、SI002・SI006・SI032の3軒である。

その他形状不明のものが数軒認められる。

以上で明らかのように、楕円形を呈する住居址が最も多く、次いで円形を呈するものが多く、隅丸方形・隅丸長方形を呈するものは少ない。

規模の最大のもは楕円形を呈するSI035で、長径7.3m・短径5.6m、小規模のものSI024・SI034・SI039等円形を呈するもので、直径4.5m内外である。

確認面から床面までの深さは、SI017が最も深く0.68mを計り、浅いものはSI009で0.2m内外である。おおむね0.3m内外のものが多いが、ローム層上面で遺構確認を行っているので、旧状は多少深かったものと看取される。

炉址は、その形態から下記の3種類に分類できる。

地床炉；床圍を皿状に掘り凹めただけのもの

SI003・004・006・007・008・009・010・011・016・017・019・021・024・025・029・030・032・035・037・039・040

土器埋設炉；完形品または胴上半部・胴下半部を切断した土器を埋め込んだもの

SI002・005・015・020・022・036

土器片囲い炉；土器片を使用し炉を囲んだもの

SI013・038

炉址の位置は、楕円形または隅丸長方形の場合、中軸線上中央よりやや北側に位置し、円形または隅丸方形の場合も中央よりやや北側に位置する傾向がみられる。

主柱穴は、円形の場合5ないしは6本、楕円形の場合も5ないしは6本である。隅丸長方形の場合は4本である。

確認された住居址のうち、その時期が直接判明するものは数軒で、多くは出土土器が少ないことや、ほとんど覆土中からの出土だけで時期の判然としないものが多いが、覆土出土の土器等から間接的にその時期を求めてみると下記の様になる。

赤松第Ⅰ期；加曾利E2式

SI002・005・007・010

赤松第Ⅱ期；加曾利E2式

SI004・006・008・011・017・019・023・024・025・032・036・038

赤松第Ⅲ期；加曾利E3式

SI013・015・020・022・030・031・035・029・037

赤松第Ⅳ期；加曾利E3式

SI003・009・021・034・039

本遺跡の始期と考えられる第Ⅰ期の住居は、台地先端に近い縁辺部、遺跡の東側に分布している。この期からすでに弧状を呈しているが住居の数は少ない。

次のⅡ期になると住居の数が増大し盛期を迎える。第Ⅰ期より台地西側へ広がり、台地全体に分布し、円弧を描いて点在する。

第Ⅲ期に入ると第Ⅱ期より若干住居の数が減少するが、遺跡全般に分布している。この期の住居は、第Ⅱ期の内側、すなわち集落の中央部寄りに点在する。

第Ⅳ期になると住居数は極度に減少し衰期を向かえる。分布は遺跡全体にみられるが、第Ⅲ期よりさらに台地中央部寄りにあり、住居の規模が小さくなる。以上のことから、当遺跡においては最初台地先端部または台地縁辺部に住居が構築されるが、次第に台地内側に設けられる傾向がみられる。

これらの住居址は、多数の土壇と共に円弧状の分布を呈し集落を構成している。未精査ではあるが南側にも住居址・土壇の存在を多数確認しているので、集落の形態としては馬蹄形あるいは環状を呈していたものと看取される。そして環状に分布する遺構群の中心部には、縄文時代の遺構は発見されず広場となっている。

## 土壇群について

土壇は、竪穴住居址と同じように集落のほぼ全域にわたって、200余基確認された。これらの土壇をその形状によって分類すると、

- A類 平面形は円形を呈し、口径より底径が若干広く、壁は上部に向け内傾しフラスコ状を呈するもの
  - B類 平面形はおおむね円形で、口径と底径がほぼ同じか、若干底径が小さく、壁はほぼ垂直に立ち上がるもの
  - C類 円形または楕円形の平面形を呈し、断面が鍋底状を呈するもの
  - D類 平面形は円形で柱穴状のもの
  - E類 平面形は楕円形を呈し、横断面がV字形状を呈するもの
- 以上の5種類に大別することができる。

A類は、いわゆる「フラスコ状土壇」で82基を数える(第7表)。規模は、深さ0.55m・底径1.5m前後のものから深さ1.1m・底径2.9m前後のものがあるが、深さ0.7m・底径1.7m内外のものも多く看られる。壁の内傾度はまちまちであるが、極度に内傾するものは少ない。壇底部には、柱穴状ピットまたは袋状ピットを有するものが多い。柱穴状ピットは壇底中央部にあり、袋状ピットは壁直下に認められ多いもので4ヶ所の袋状ピットを有するものがある。何らピットを有さないものは82基中20基である。覆土は人為的に埋めもどされたものと看られるものと、自然の流入と看られるものがあるが、両者共に炭化物・焼土を含んでいるものが多い。底面はおおむね堅緻で、中央部が住居址の床面のように踏み堅められているものがある。また底面附近に粘土塊

が存在するものがある。出土遺物は完形または大形破片の土器を出土したものは少なく、大半は若干の土器片の出土だけで、他に土器片錘や石器類があるが、ほとんど覆土中からの出土である。土器型式は、住居址と同じで、加曾利E2式・E3式が主体である。

分布状態は住居址のあり方と類似し、住居址群との間に領域を画するようなことはなく、隣接し環状に分布している。住居址および土壌間の重複も多く看られる。

フラスコ状土壌は「袋状土壌」とも称され、その用途については墓塚説、貯蔵穴説、採掘坑説等がある。当遺跡のフラスコ状土壌については、底面附近から雲母片岩の小片が出土する例が認められ、また底面出土の白色粘土中に、雲母片岩の細砂粒を含んだものが認められていることから土器製作のための原料採掘場で、土器製作が行われた可能性も否定することはできないが、底面の状態から一定期間使用されていたこと、柱穴状ピットから簡単な上屋の存在が予想されること、袋状小ピットが貯蔵物の保存に適していると看取されること、さらに住居址と隣接して存在していること等から、住居址に伴う屋外の貯蔵穴と考えたい。

B類として捉えられるものは20基程認められ、A類のフラスコ状土壌にみられたようなピットを底面に有するものがある等、A類と同じような性格の土壌と考えられる。壁の崩壊等によるものか、時間的な差によるものか検討したい。

C類に属するものは100基程数えられるが、規模・形状はバラエティーに富み、出土遺物はほとんど認められず性格不明の土壌である。

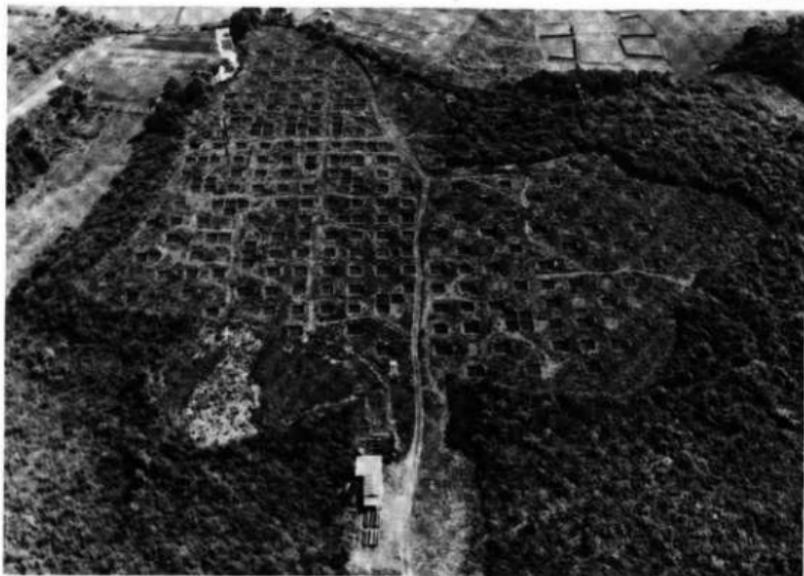
D類として捉えられるものは少なく、性格は明らかでない。

E類に属するものは10基を数える(第8表)。長軸2～3m・深さ2m内外で、横断面形はシャープなV字形、縦断面形は下部で若干オーバーハングを呈するものもあるが、おおむねU形を呈する。墳底部は幅0.2m内外と狭長である。覆土はおおむね自然の流入とみられるが、下層あるいは底面附近から炭化物が多く認められている。出土遺物は若干の加曾利E期の土器だけで、覆土上層からの出土である。加曾利E3期の住居址を破壊して構築されている。この土壌は舌状台地を東西に2分し、台地西側を囲むように、南北50mにわたり1～6mの間隔をもって弧状に分布している。しかし、住居址群の分布と噛み合う形で分布しているので、集落との直接的な関連は薄いと思われる。

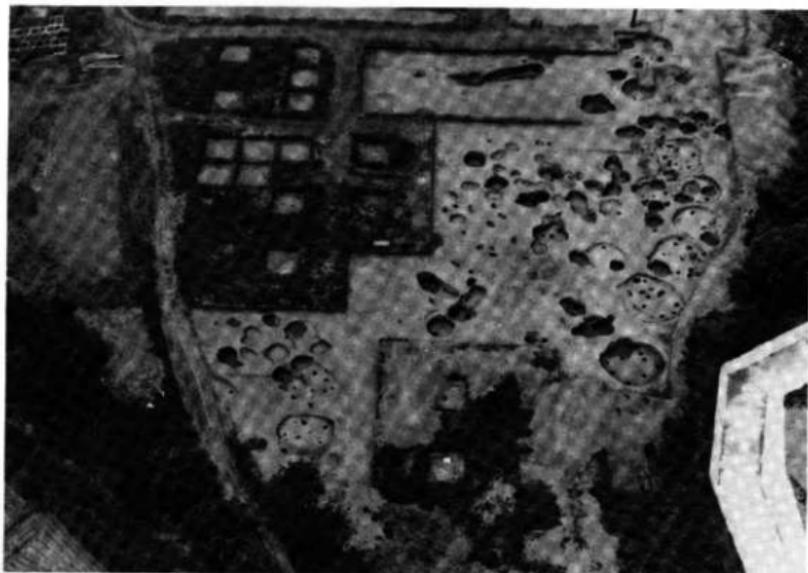
同形態の土壌は、南西方400mの松葉遺跡から1基確認されているほか、県内では日立市大沼遺跡、千代田村志筑遺跡から発見されている。類似形態のものは関東から北海道にかけ100余遺跡で確認されているが、動物捕獲のための「落とし穴」説、牧に関連する遺構説などがあるが、決定資料が乏しい。当遺跡においても、その手掛りは無い。



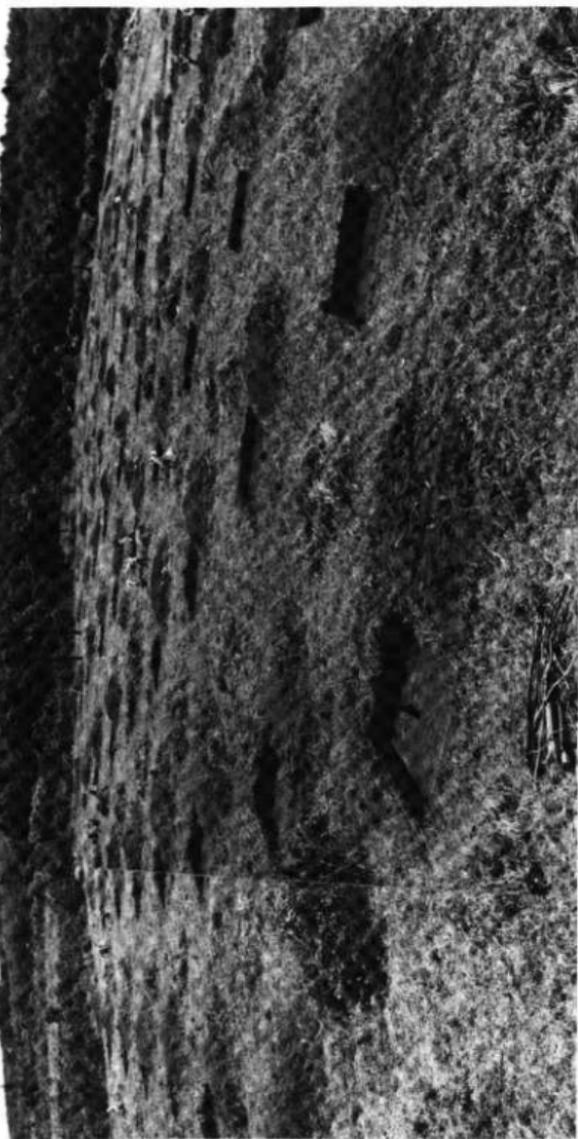
# 版 图



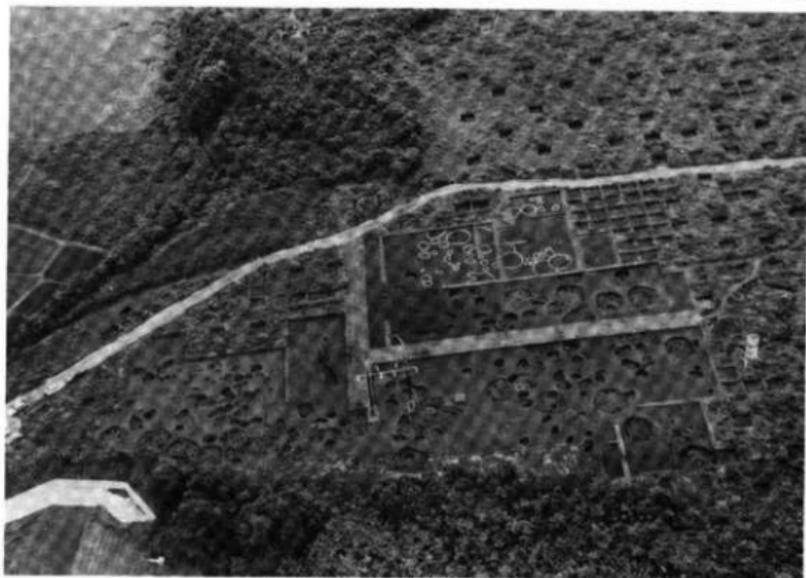
(a) 赤松遺跡全景



(b) 東部地区遺構群



赤 松 遺 跡 全 景



(a) 赤松遺跡全景 (調査終了時)



(b) A 3 区・B 3 区遺構群



(a) B 4 区 遺 構 群



(b) B 3 区 · B 4 区 遺 構 群



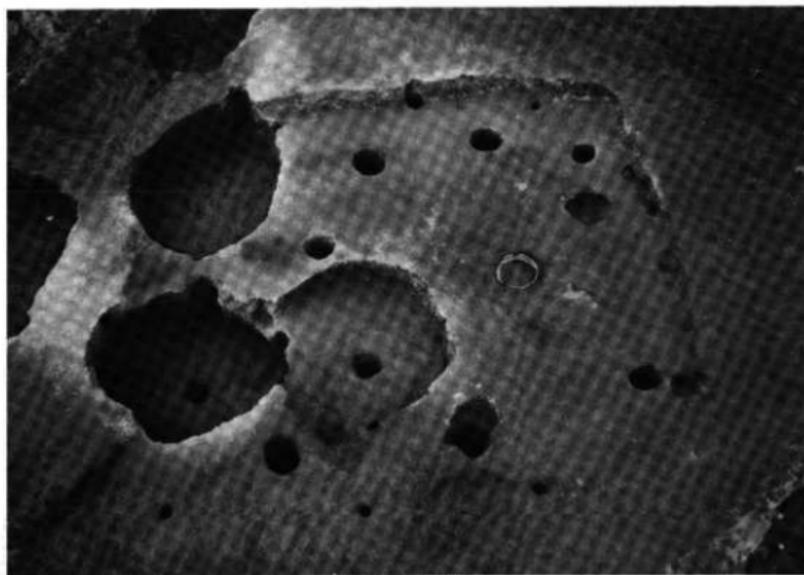
(a) 調 査 風 景



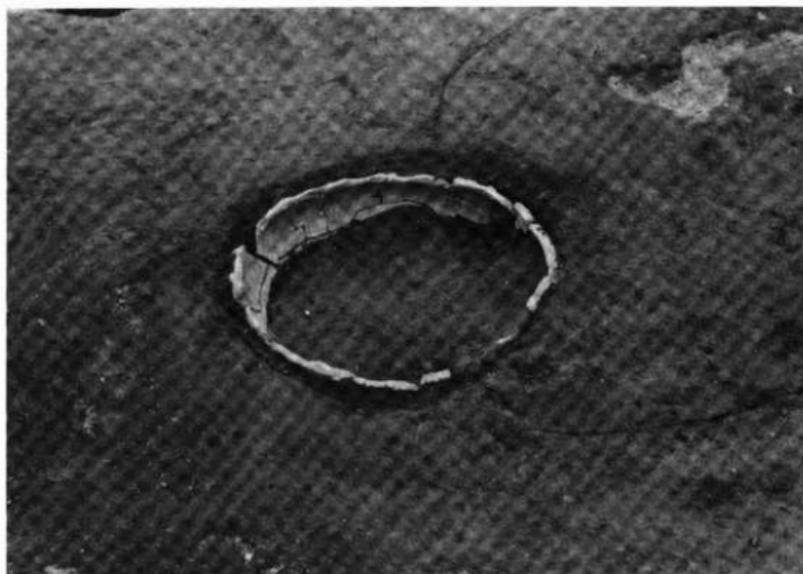
(b) 調 査 風 景



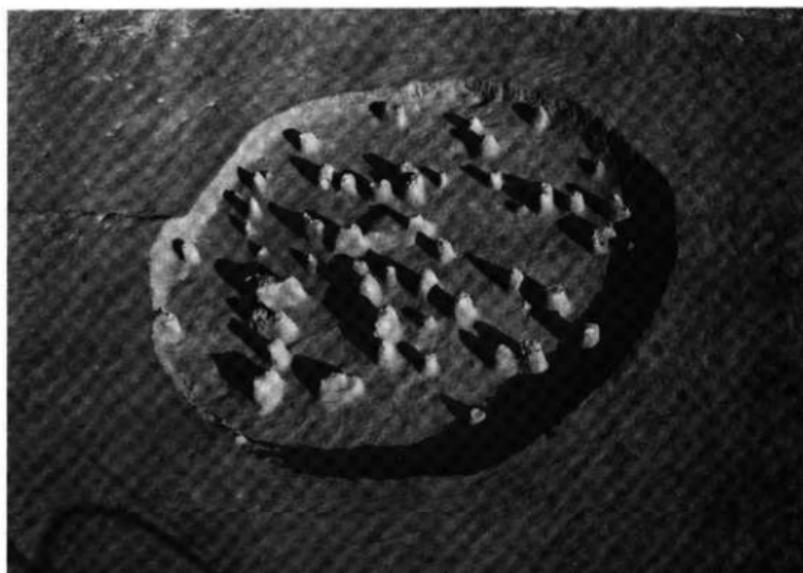
(a) SI 002 遺物出土狀態



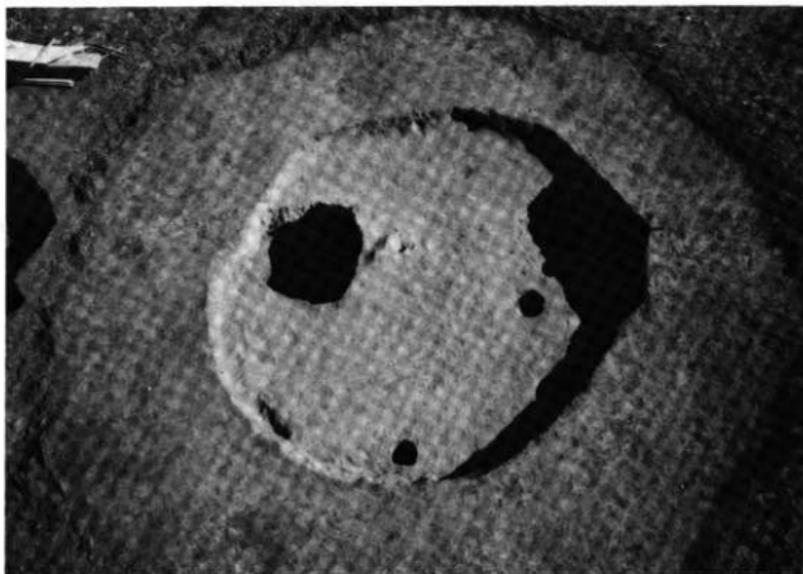
(b) SI 002



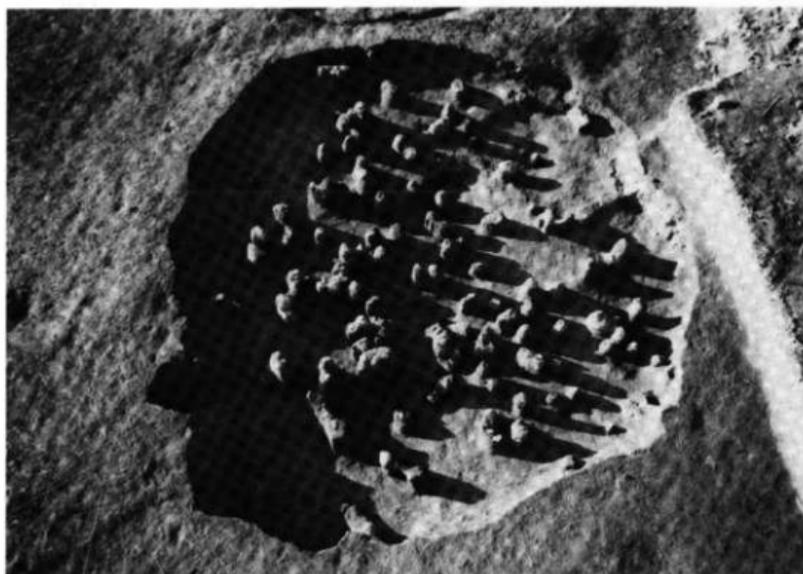
(a) SI 002 遺物 出土 状態



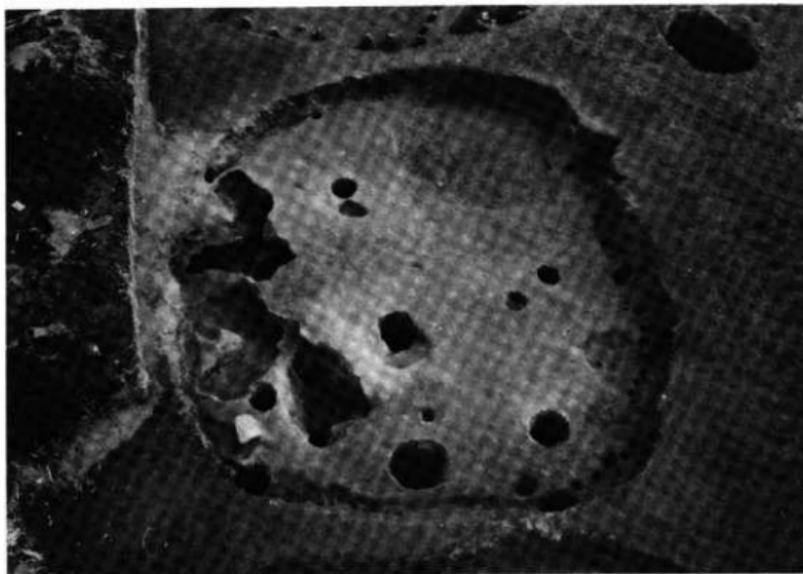
(b) SI 003 遺物 出土 状態



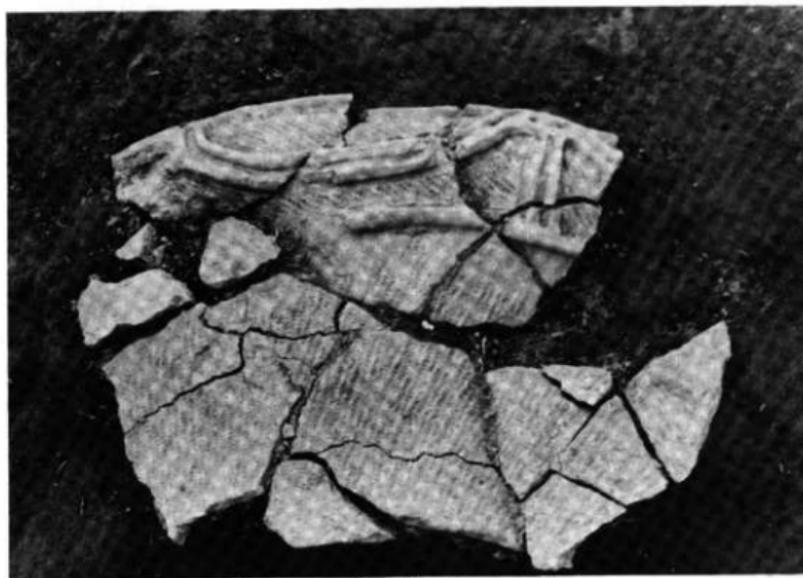
(a) SI 003



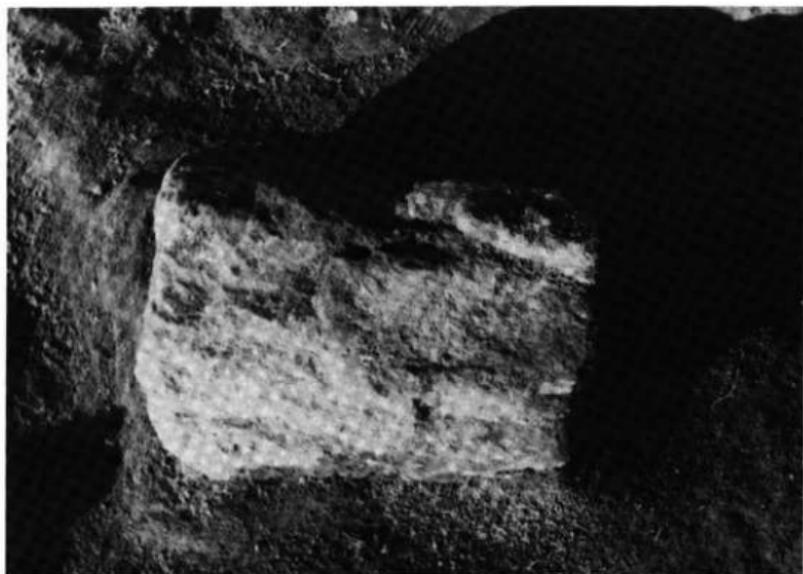
(b) SI 004 遺物出土狀態



(a) SI 004



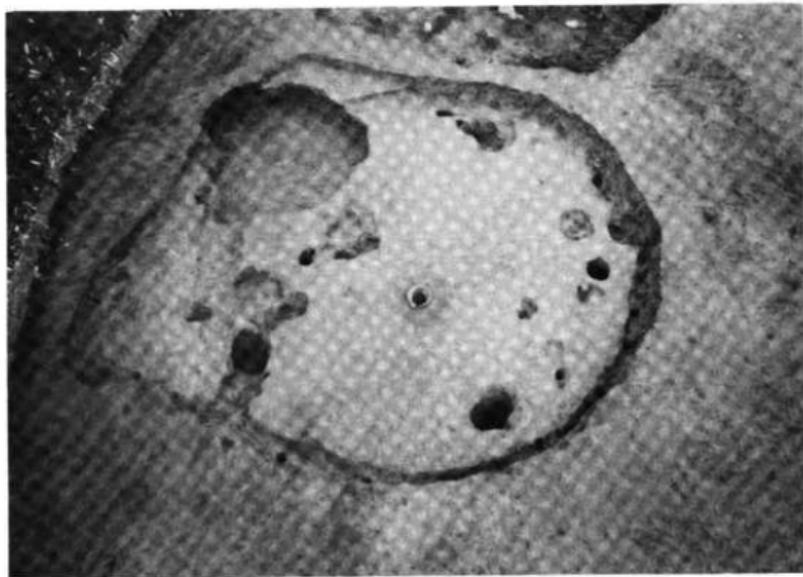
(b) SI 004 遺物 出土 狀態



(a) SI 004 遺物 出土 状態



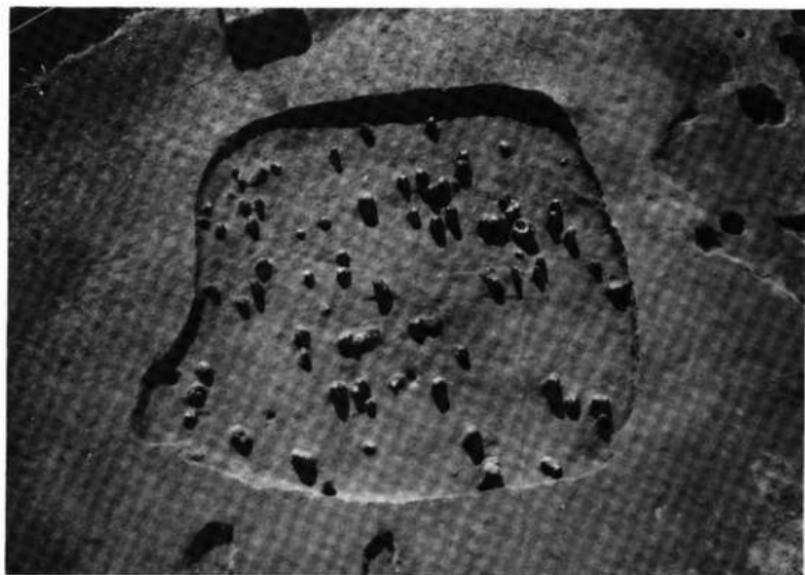
(b) SI 005 遺物 出土 状態



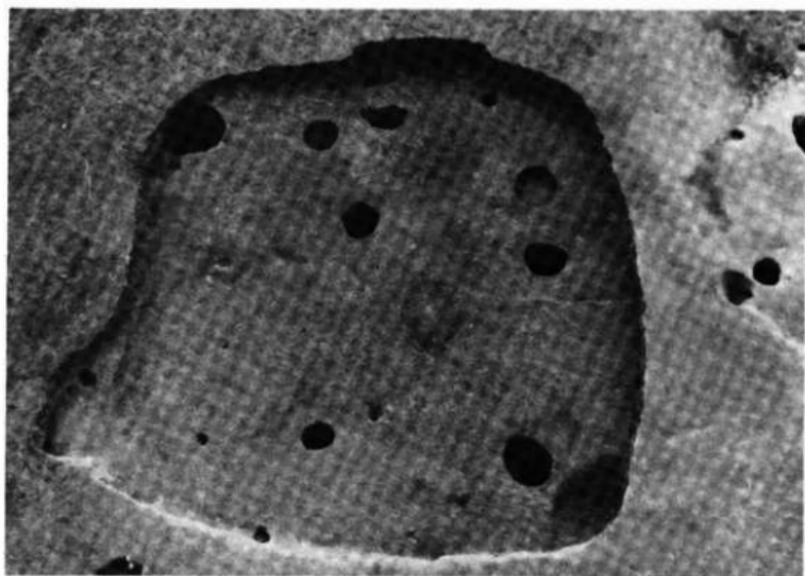
(a) S1 005



(b) S1 005 遺物 出土 状態



(a) SI 006 遺物出土狀態



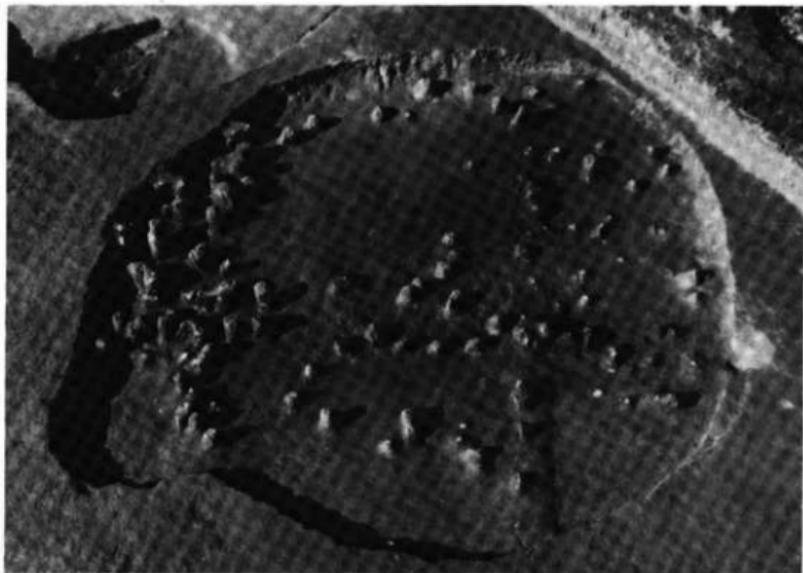
(b) SI 006



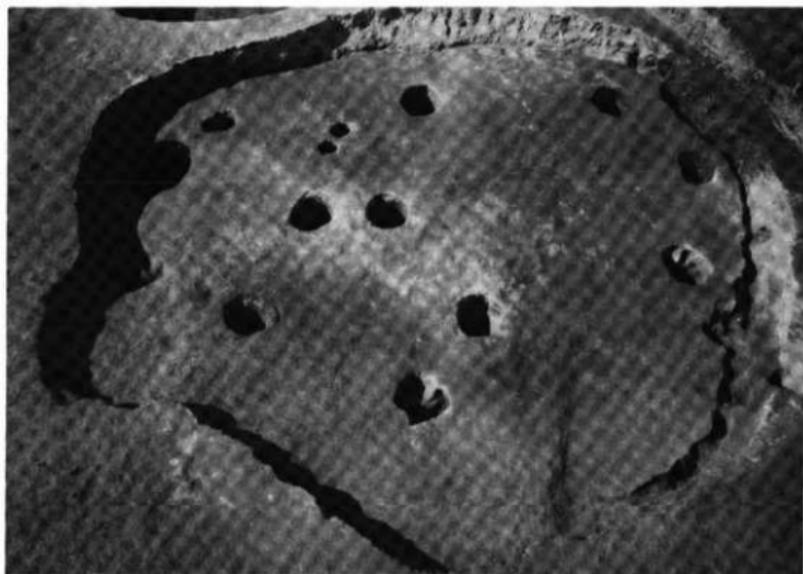
(a) SI 006 遺物 出土 状態



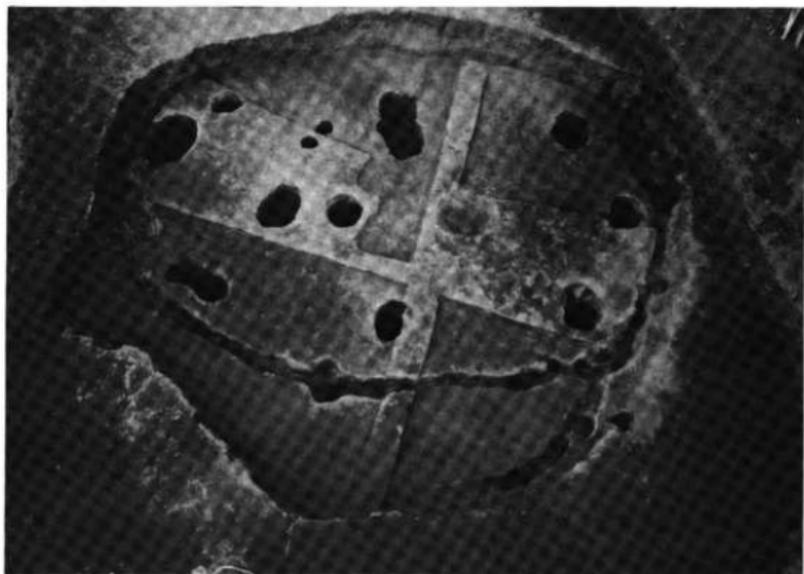
(b) SI 006 遺物 出土 状態



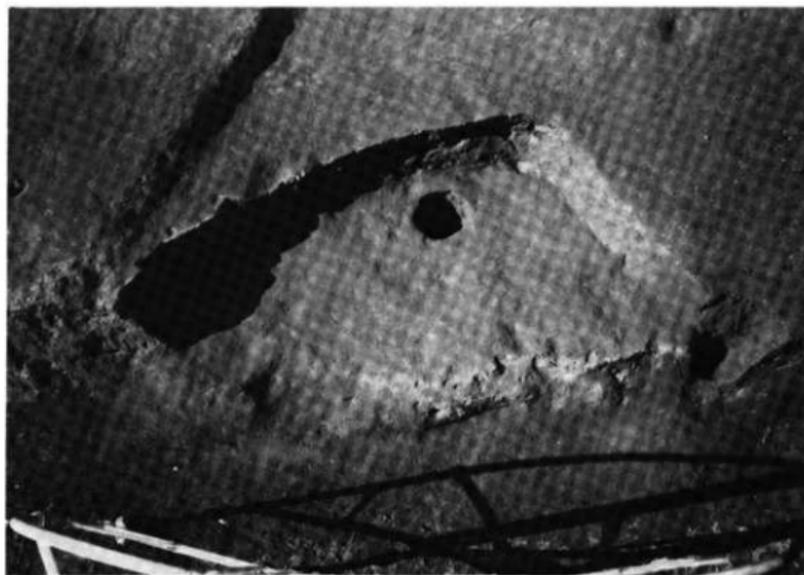
(a) SI 007 遺物 出土 状態



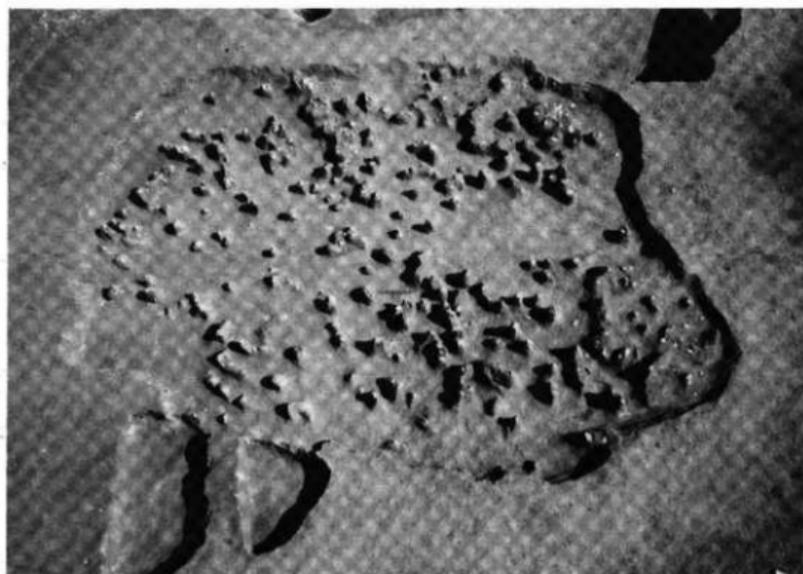
(b) SI 007



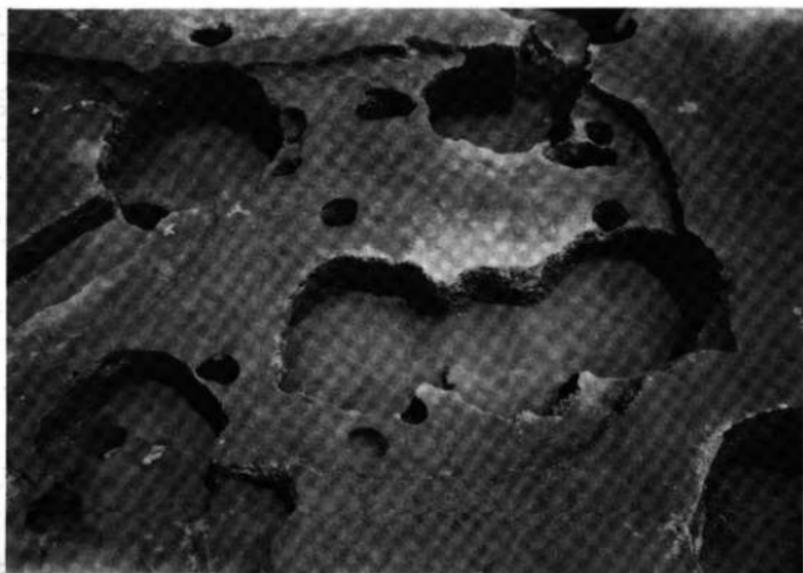
(a) SI 007



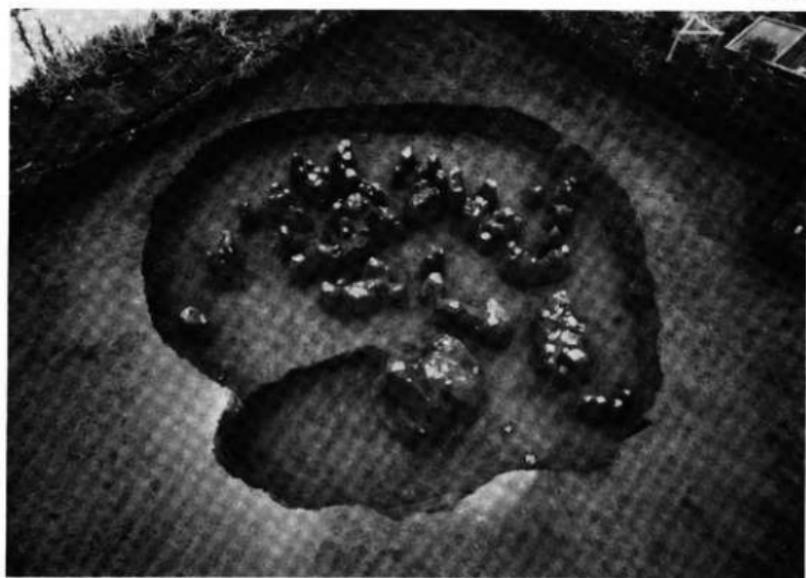
(b) SI 008



(a) SI 009 遺物 出土 状態



(b) SI 009



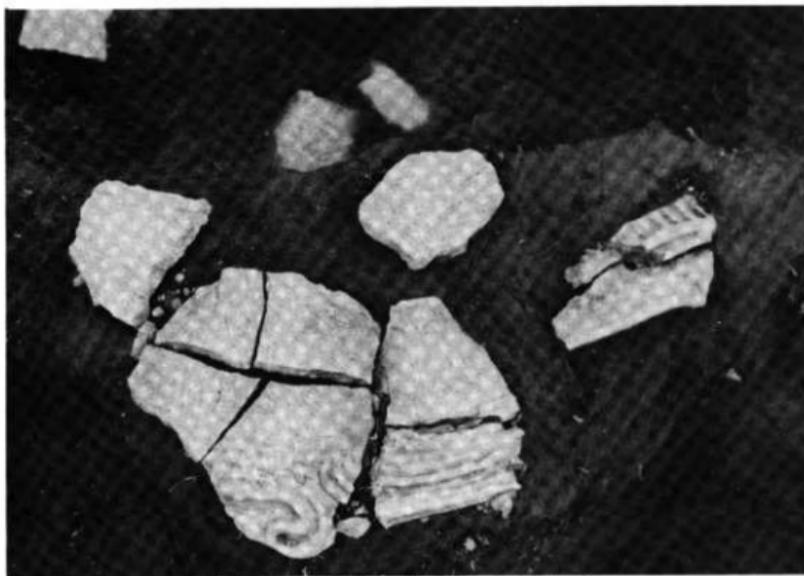
(a) SI 010 遺物出土状態



(b) SI 010



(a) SI 010 遺物 出土 状態



(b) SI 010 遺物 出土 状態



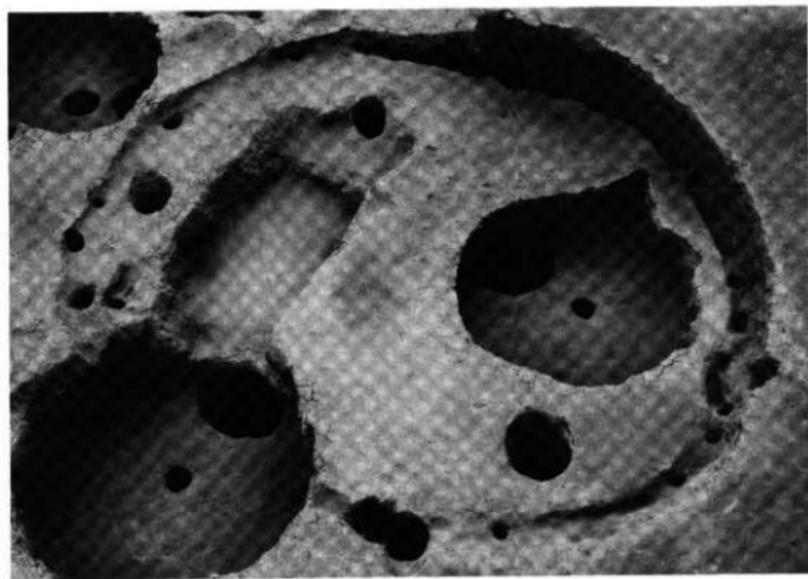
(a) SI 010 遺物出土狀態



(b) SI 010 遺物出土狀態



(a) SI 011 遺物出土状態



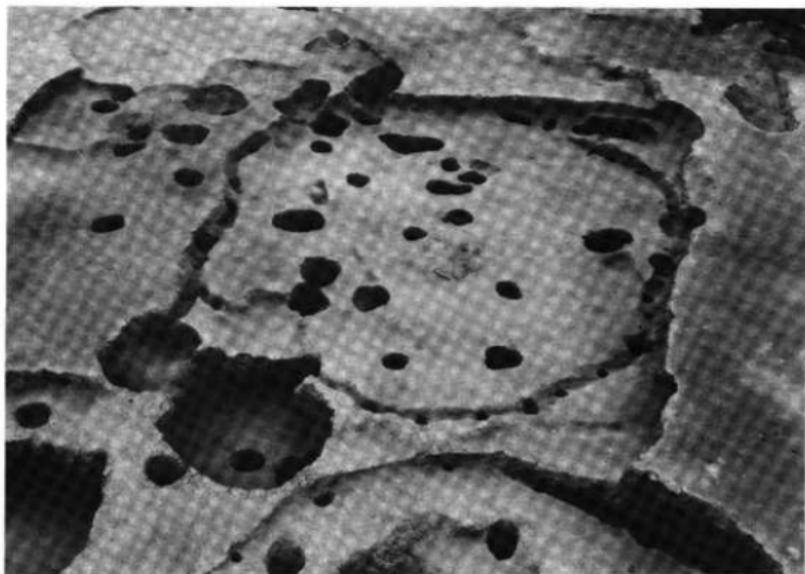
(b) SI 011



(a) SI 011 遺物 出土 状態



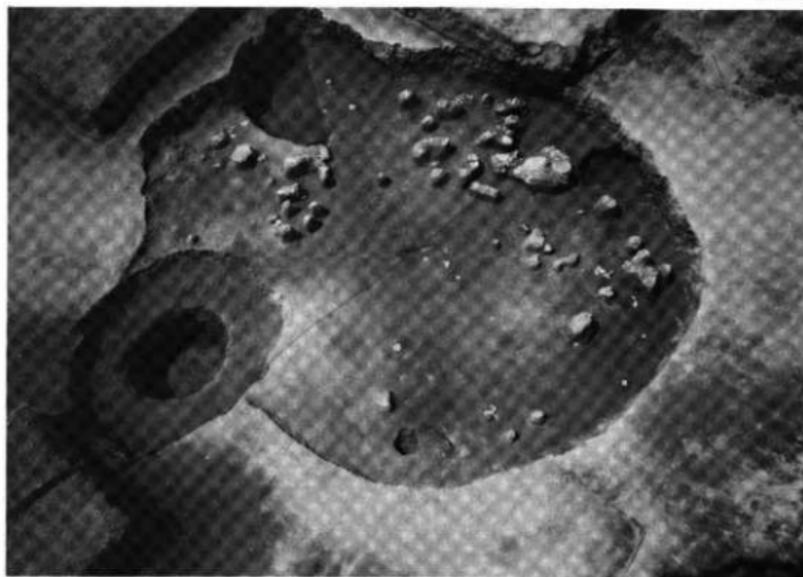
(b) SI 011 遺物 出土 状態



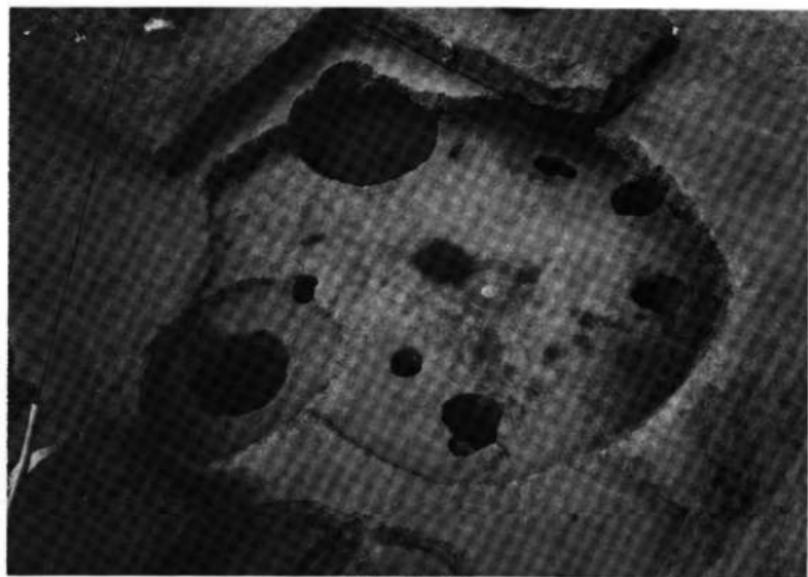
(a) S1 013·016



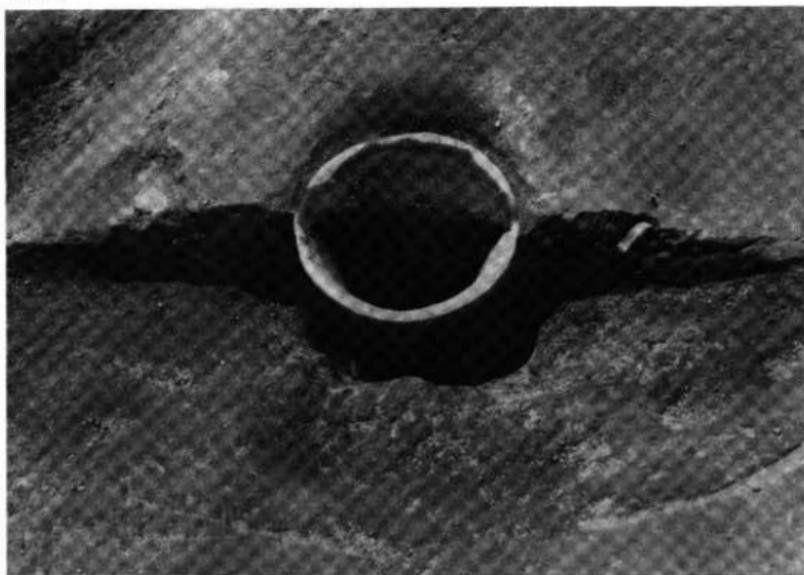
(b) S1 013 遺物出土狀態



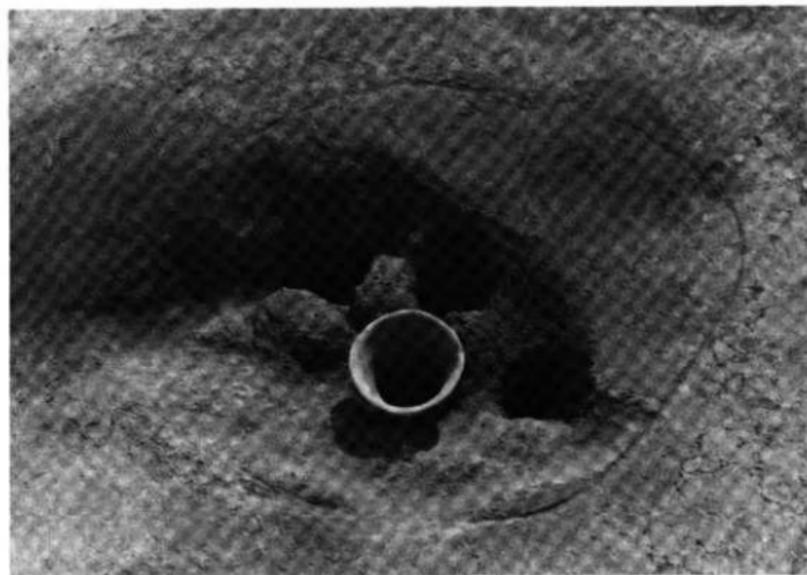
(a) SI 015 遺物出土状態



(b) SI 015



(a) SI 015 遺物出土狀態



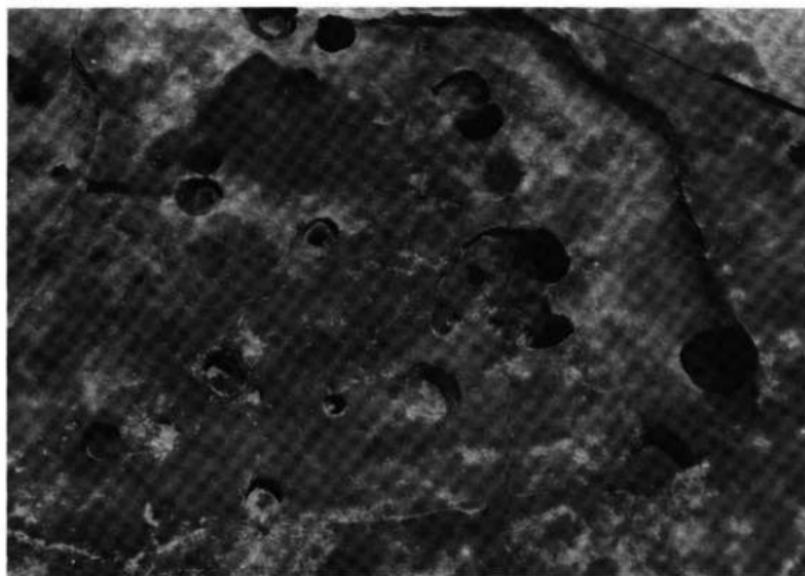
(b) SI 015 炉 址



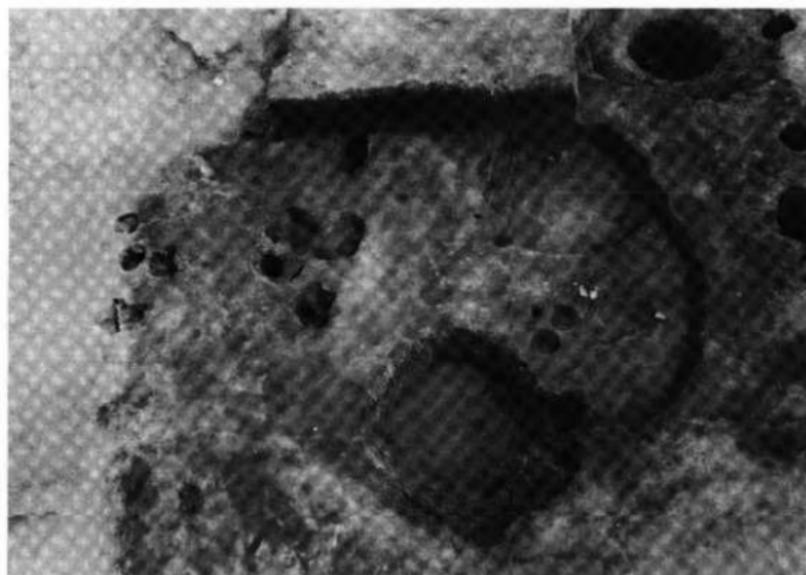
(a) SI 017 遺物出土状態



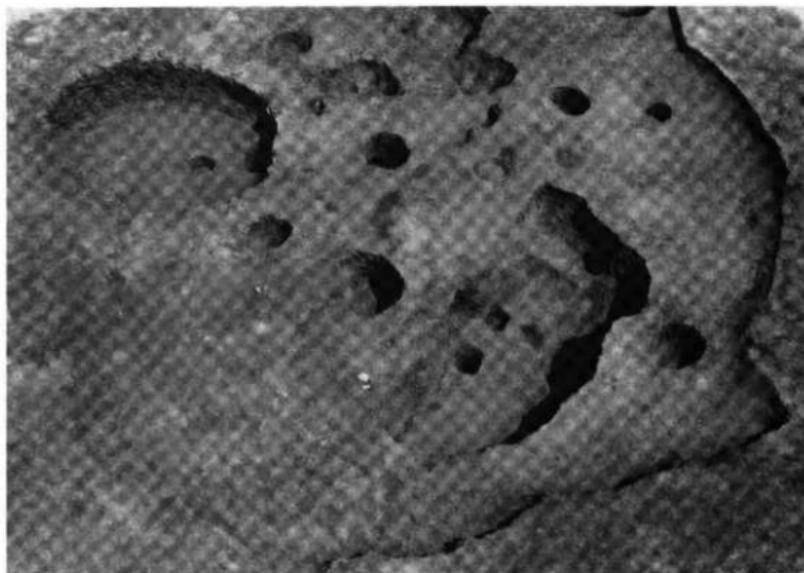
(b) SI 017



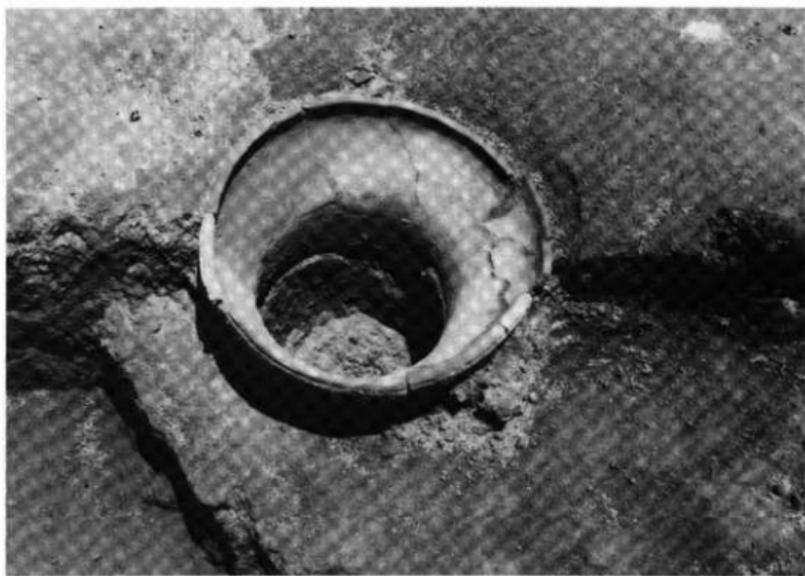
(a) SI 018



(b) SI 019



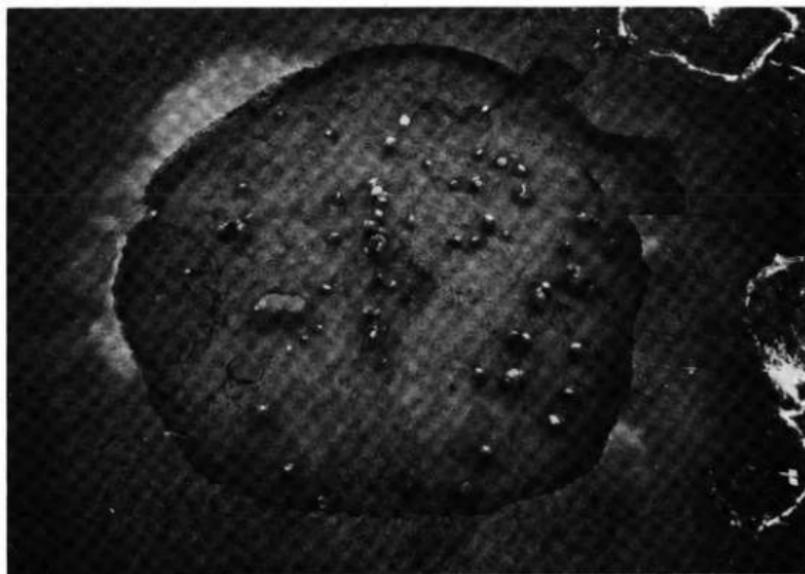
(a) SI 020



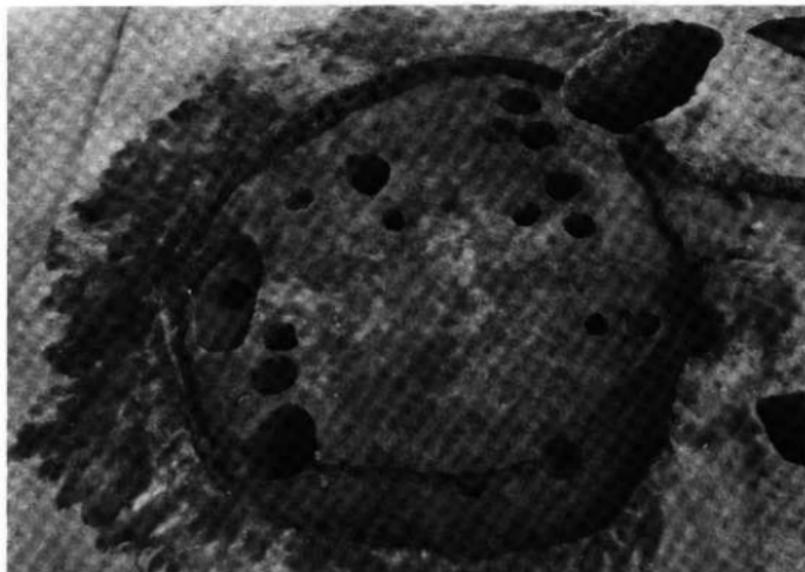
(b) SI 020 遺物出土狀態



(a) SI 021



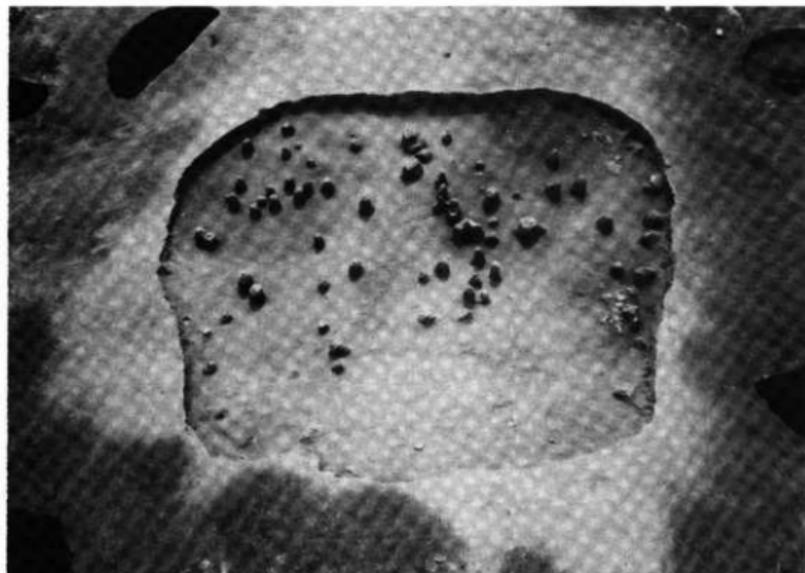
(b) SI 022 遺物出土狀態



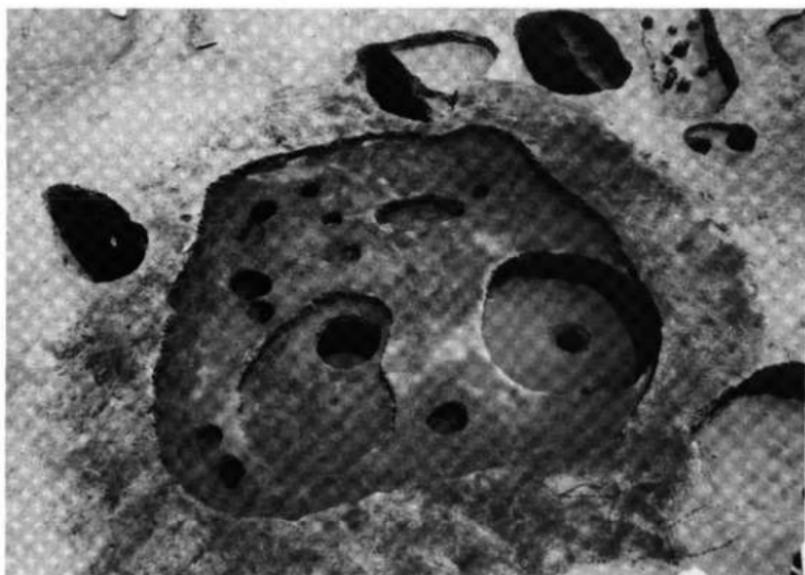
(a) SI 022



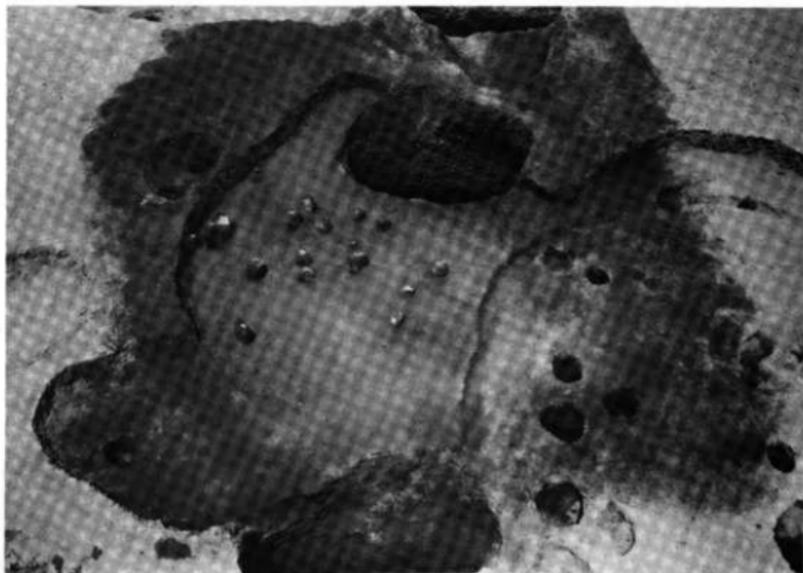
(b) SI 022 遺物出土狀態



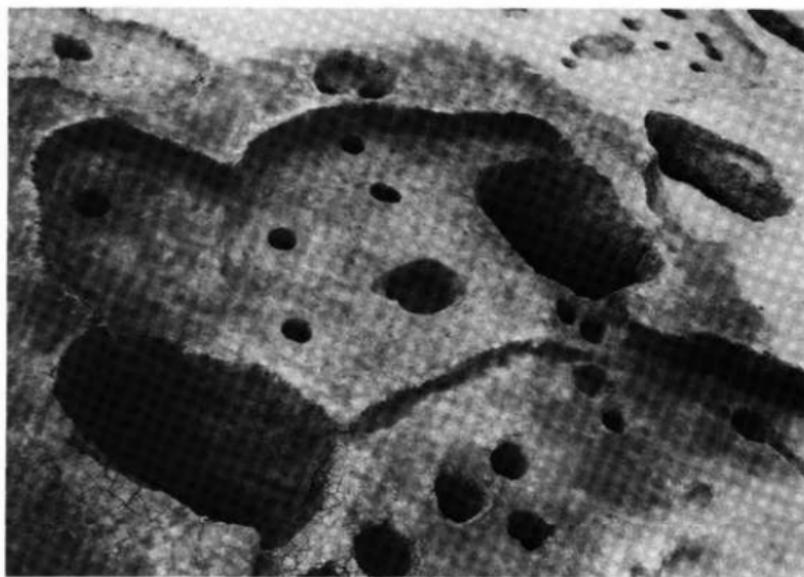
(a) S1 023 遺物 出土 状態



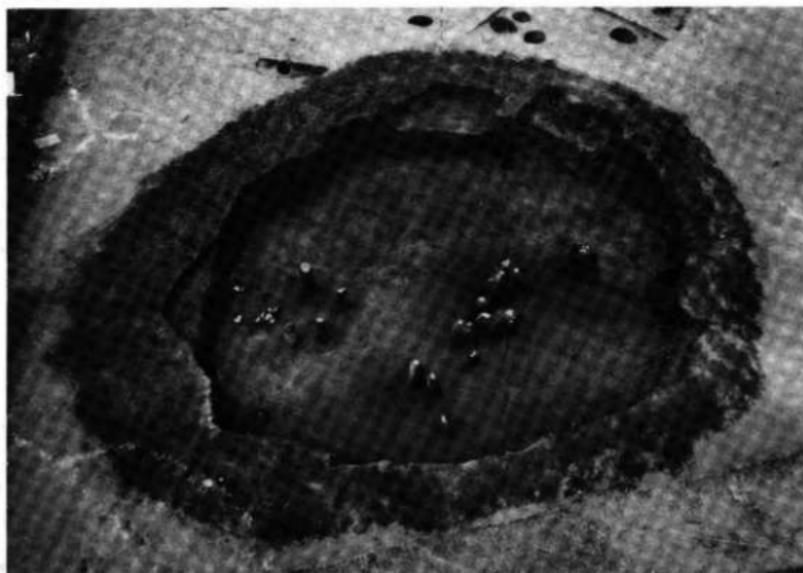
(b) S1 023



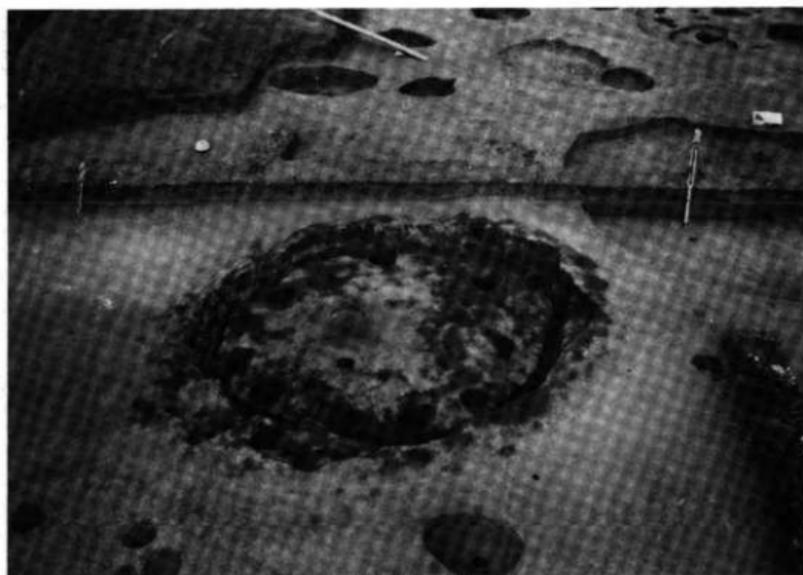
(a) SI 024 遺物 出土 状態



(b) SI 024



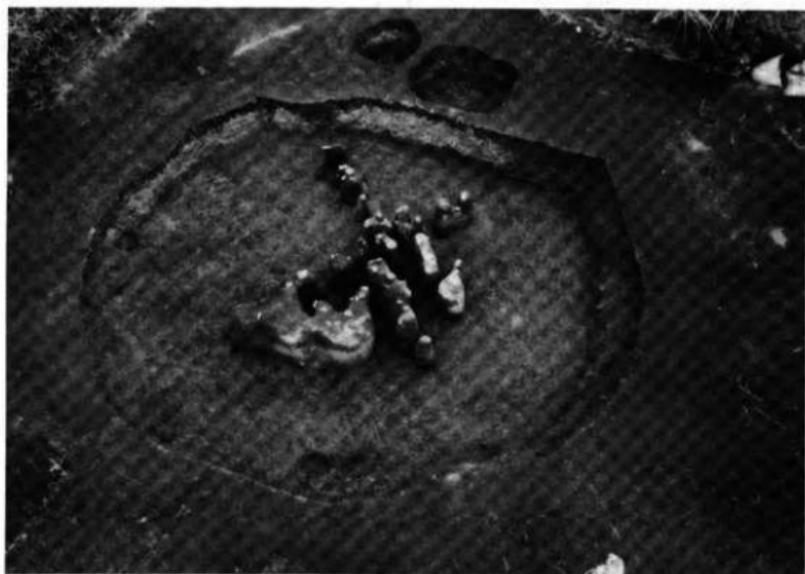
(a) SI 025 遺物出土状態



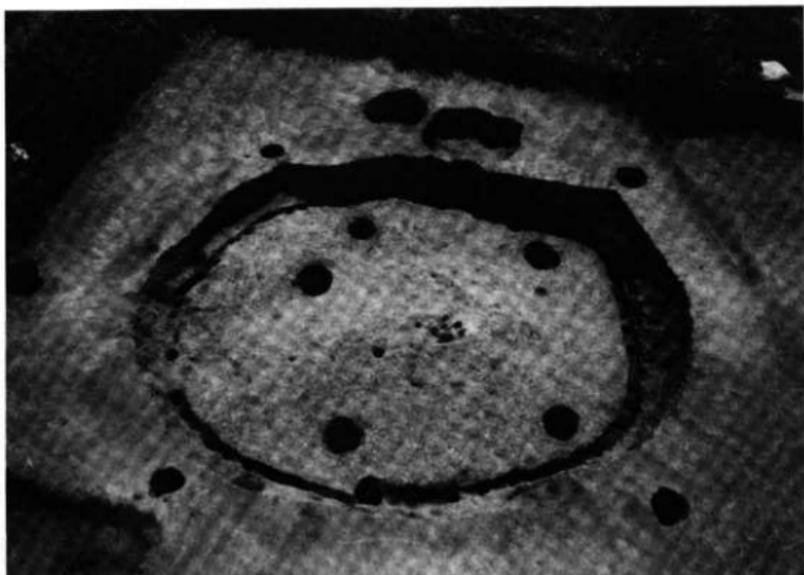
(b) SI 025



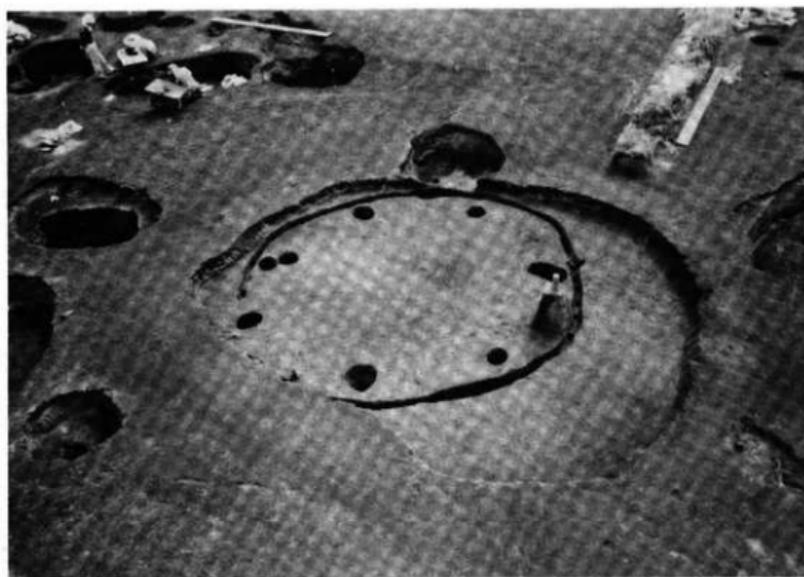
(a) SI 026



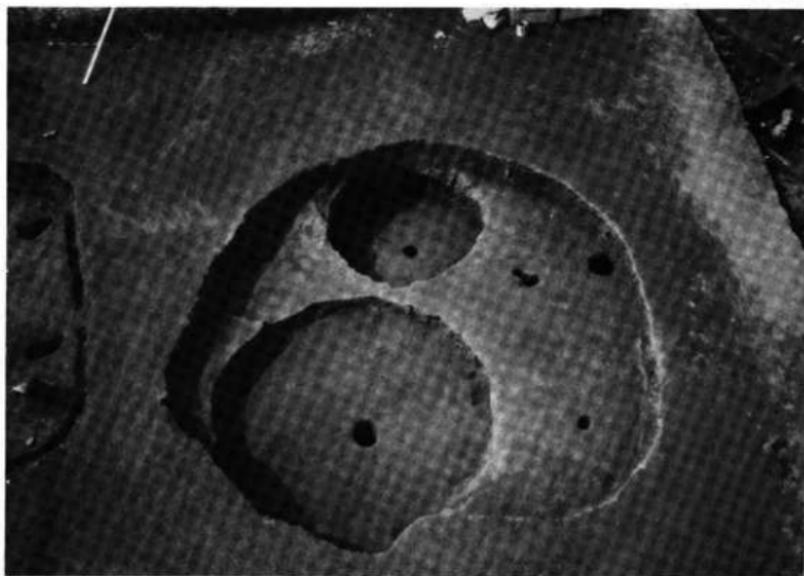
(b) SI 029 遺物出土狀態



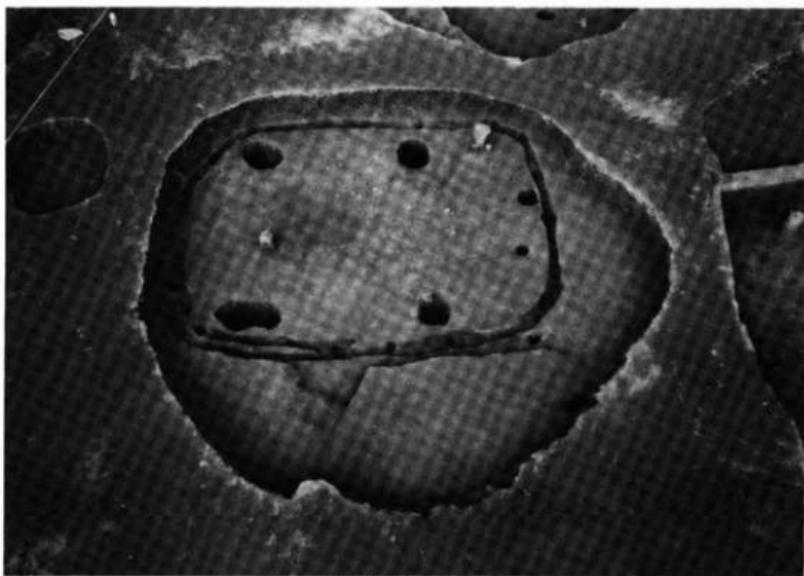
(a) SI 029



(b) SI 030



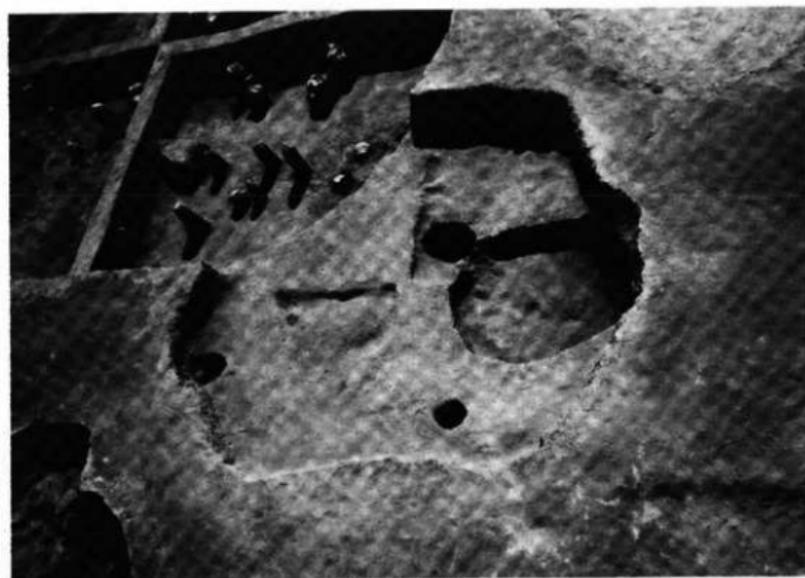
(a) SI 031



(b) SI 032



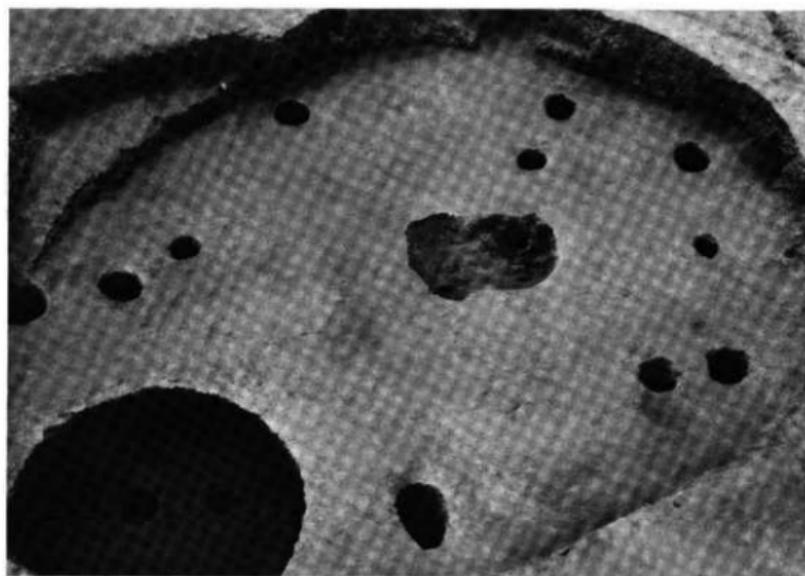
(a) SI 033 - 039



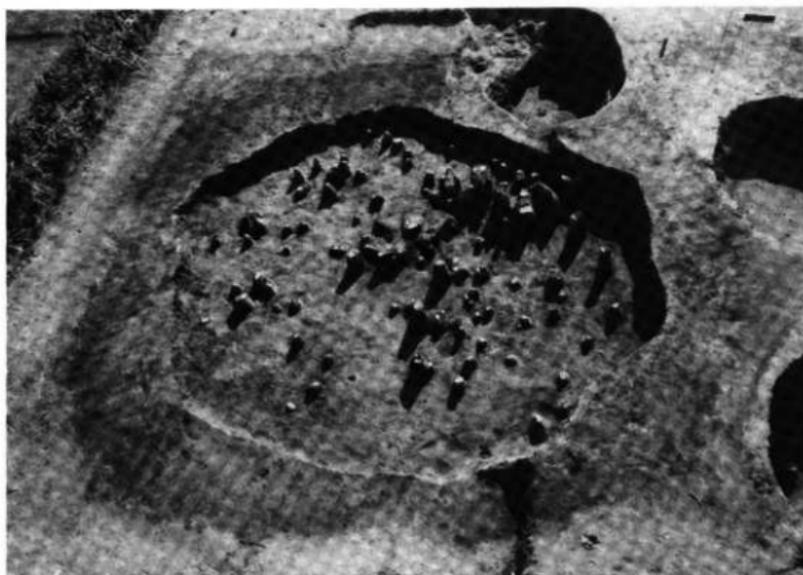
(b) SI 034



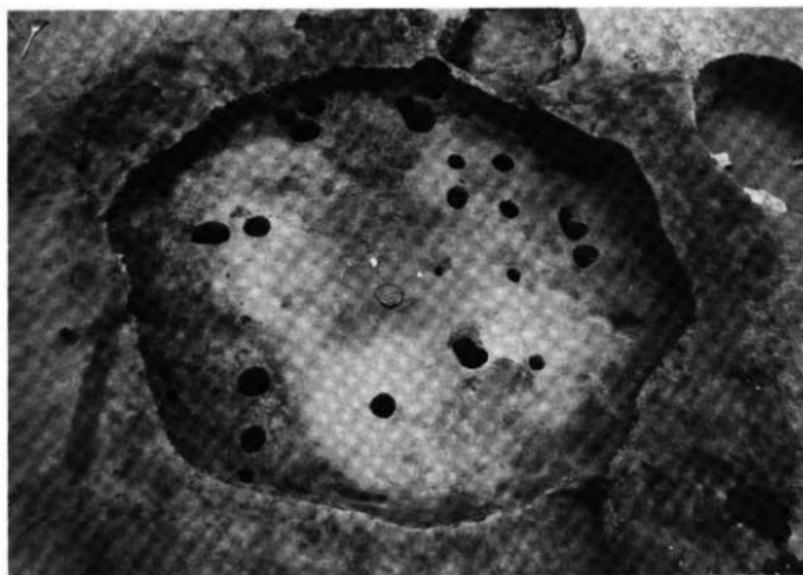
(a) SI 035 遺物出土状態



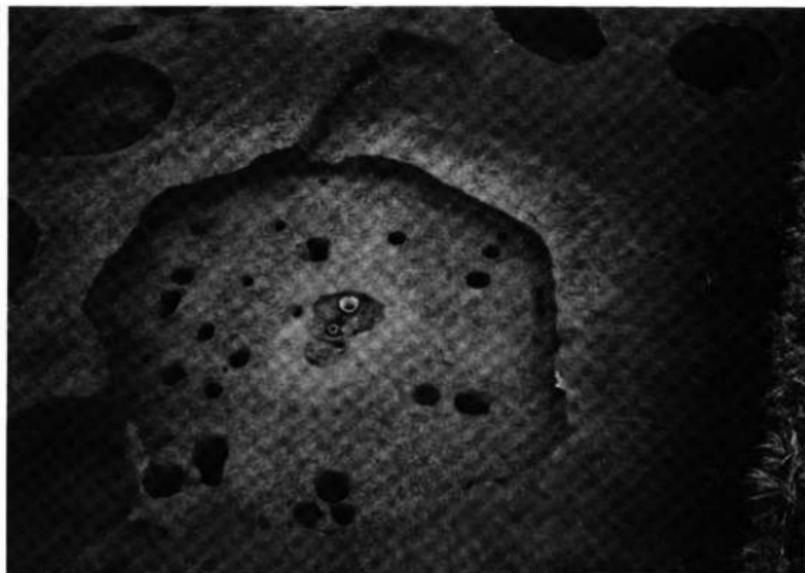
(b) SI 035



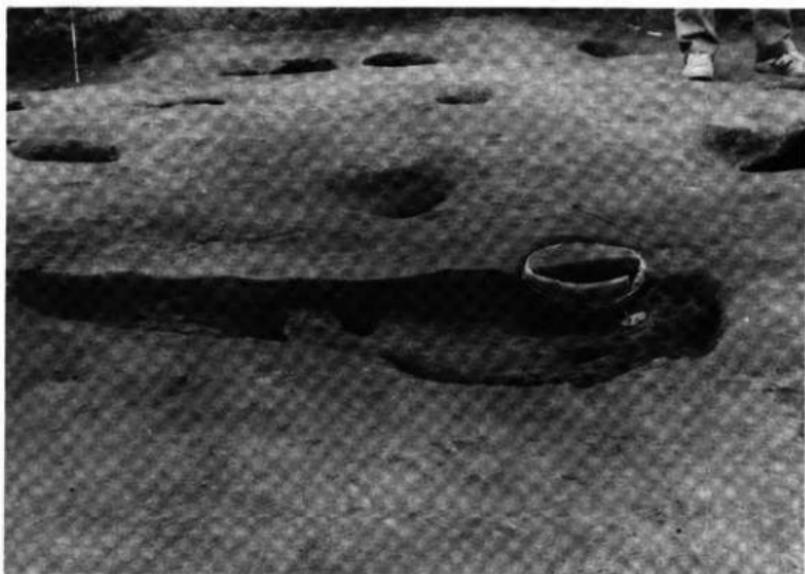
(a) SI 036 遺物 出土 状態



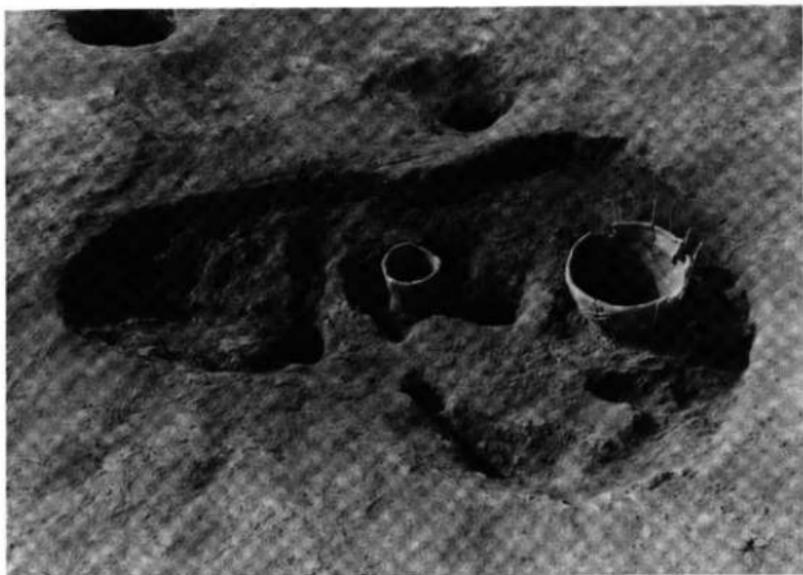
(b) SI 036



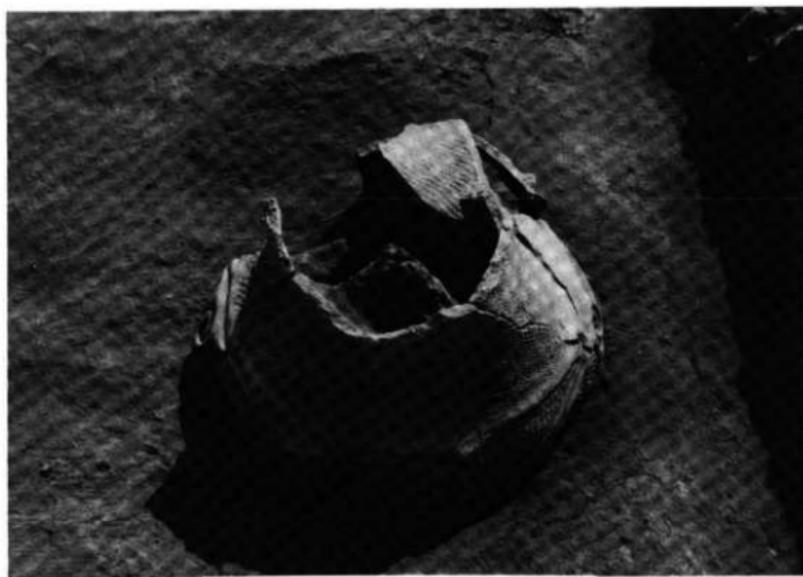
(a) SI 036



(b) SI 036 炉 址 断 面



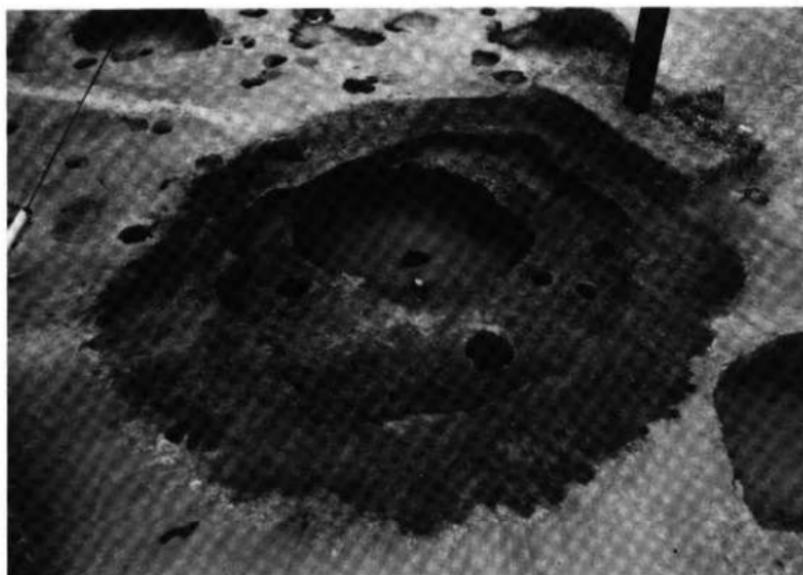
(a) SI 036 炉 址



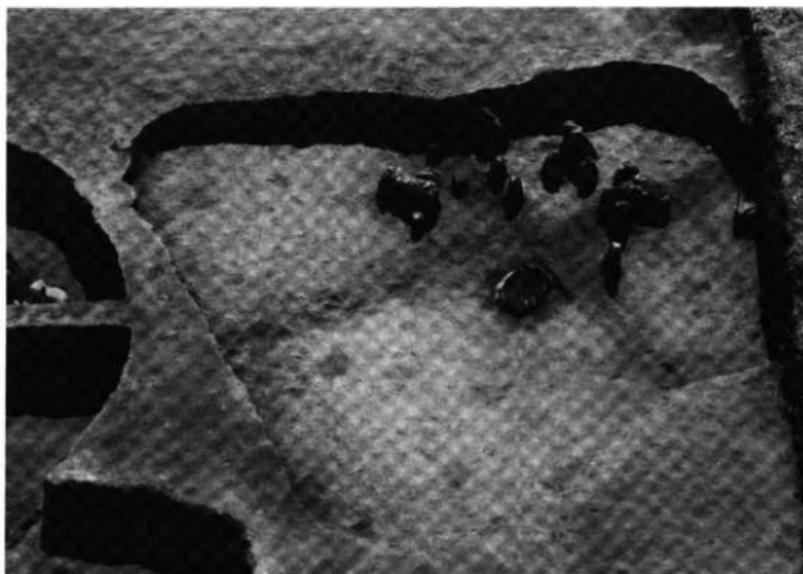
(b) SI 036 遺 物 出 土 状 態



(a) SI 037 遺物 出土 状態



(b) SI 037



(a) SI 038 遺物 出土 状態



(b) SI 038 遺物 出土 状態